

デジタルによる創発・共創のマッチングプラットフォーム「YOKOHAMA Hack!

「都市」をテーマにした課題の解決に向けて

ワーキング参加者を募集します！

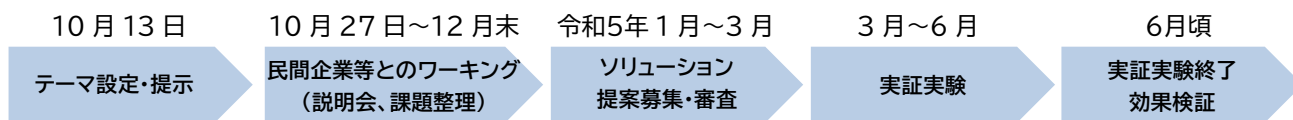
横浜市では、DX推進の取組として、行政の業務やサービスにおける課題・改善要望（ニーズ）と、それを解決する民間企業等の皆様が有するデジタル技術（シーズ）提案をマッチングするオープンなプラットフォーム「YOKOHAMA Hack!」を運営しています。

この度、令和4年7月4日にスタートした第一回実証実験（「防災」をテーマにした課題解決）に続き、第二回の募集テーマを発表します。募集テーマについて、課題解決の方向性を示す提案や、課題の本質を明らかにする議論にご参加いただける民間企業等を募集いたします。課題解決に繋がる知見をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

募集内容

募集テーマ ※各テーマの詳細は YOKOHAMA Hack!公式サイト（下記URL）をご覧ください。	テーマ① <河川等の土砂堆積量の把握と分析> 河川には雨水と同時に上流から土砂も流れ込み、河床等への土砂の堆積が進行すると洪水の原因となる。その防止のため、職員による目視点検を行っており、業務の効率化やスキルの個人差に課題がある。画像解析・データ分析等のアプローチにより、堆積土砂の位置とボリュームを把握する技術や、土砂堆積の傾向を分析する技術を解決策として想定している。
	テーマ② <みなとみらい 21 地区等イベント終了時の人流の分散による回遊性向上> 大規模イベント終了時に、参加者が他の施設等に立ち寄らず帰路につくことで、集客につながらないと共に、最寄り駅や周辺道路での混雑が発生している。イベント終了後の参加者に対して、何等かの仕掛けを行い周辺エリア内への回遊を向上させ、周辺施設等の利用など経済効果を高めたい。（合わせて、最寄り駅や周辺道路への集中を緩和したい。）
募集期間	令和4年 10月13日(木) ～ 10月24日(月)
募集対象	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に対する主体的に取り組む意欲があり、提案する技術やアイデアのある方 ワーキングでの検討に積極的に参加できる民間企業、NPO 団体、学校その他の法人及び個人事業主の方 本テーマの解決に資する製品/サービスのアイデアが具体化していること（ワーキング実施期間終了後に実証実験を行う場合、そのためのデジタル技術またはサービス及び実施体制等を用意できること） <small>※ ワーキングの全回終了後、その結果を踏まえ、実証実験の実施の是非を判断します。</small>
応募方法	募集要項など応募詳細は YOKOHAMA Hack! 公式サイトをご確認いただき、お申込みください。 https://hack.city.yokohama.lg.jp/
ワーキング初回日時等	テーマ① 令和4年10月27日(木) 10時から12時 テーマ② 令和4年10月27日(木) 13時から15時 【会場】 YOXO BOX（横浜市中区尾上町1丁目6）

(参考) 【実証事業の流れ】 (予定)



YOKOHAMA Hack!について

デジタル・ガバメントの取組として、行政の業務やサービスにおける課題・改善要望（ニーズ）と、それを解決する民間企業等の皆様が有するデジタル技術（シーズ）提案をマッチングするオープンなプラットフォームです。

各所管課が「今」抱えているニーズを集約・公開し、民間企業等の皆様が持っているデジタル技術をタイムリーに募ることができる環境を築き、これまでの仕組みとは異なる新たな取組として解決策の創出を目指し、横浜のDXを推進します。

(参考) 第一回テーマ ワーキング開催実績

要配慮施設利用者の安全を守る 避難確保計画の取組強化		災害時における迅速・円滑な状況把握と 情報管理に向けた映像等の活用	
開催回数	3回	開催回数	3回
開催期間	令和4年7月～8月	開催期間	令和4年7月～9月
参加企業等総数	8社	参加企業等総数	24社
			
ワーキングの様子		ワーキングの様子	

お問合せ先

デジタル統括本部デジタル・デザイン室長 谷口 智行 Tel 045-671-4761